

◆ 水道施設の強化

・ 配水池・加圧場の整備、補強

配水池や加圧場は、水道水を供給するための重要な施設です。配水池については、これまで更新、増設により耐震化をすすめてきました。また、停電時にも使用できるよう加圧場については、自家発電設備を整備しています。



八幡山第2配水池



自家発電設備

・ 地震に強い水道管の整備

地震は大きな力で地盤を变形させるので、水道管は被害を受けやすい施設です。天童市では被害を受けやすい管や古くなった管については、計画的に取り替えています。

水道管は、1本4～5mの管が繋ぎ合わさって構成されています。

耐震管は、その管と管の繋ぎ部分が、地震による地盤の動きにあわせて対応する柔軟性や伸縮性を持っており、また、離脱防止機能がついています。平成19年度より、全面的に耐震管を採用しています。



「(一社)日本ダクティル鉄管協会 提供」